



2024(令和6)年度 学校だより (令和6年11月21日発行)

きぬぎむ



栃木県小山市立絹義務教育学校 〒323-0155
TEL 0285-49-0141 FAX 0285-49-2764
e-mail kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

栃木県小山市大字福良2240番地1

発行者 校長 中島 康成

朝夕の冷え込みが、冬の訪れが近いことを感じさせる季節となりました。きぬぎむ祭を前に、10月19日に実施したPTA奉仕作業では、職員や子どもたちでは手が回らない高所作業や窓拭き、側溝掃除、樹木剪定等をしていただきました。お忙しい中、たくさんの保護者の方々にご協力いただき、環境整備を行うことができました。ありがとうございました。

また、10月18～20日に行われた県新人大会に野球部と卓球部が出場しました。桑中学校との合同チームとして参加した野球部は、見事、準優勝を勝ち取り、11月9日に行われた関東・東北・北信越大会に出場し、熱戦を繰り広げました。多くの皆様に応援いただき、ありがとうございました。



きぬぎむ祭

10月26日、たくさんのご家族や地域の皆様をお迎えし、第8回きぬぎむ祭を開催しました。今年のスローガンは、「無限大～個性飛び出す九つの色～」でした。学習成果の展示やクラス発表・合唱コンクールは、どの学年も発達段階に応じた、特色あるとても見応えのあるものばかりでした。合唱コンクールの審査委員長としてお迎えした梅山恵子先生からも、昨年よりもレベルアップし、とても素晴らしかったという講評をいただきました。



吹奏楽部の演奏



マスコットキャラクター「無限ちゃん」



1年「大きなかぶ」



2年「こぎつね」「こいぬのピノ」



3年「虹」「ミッキー-マウス-マーチ」



4年「世界が一つになるまで」



5年「大切なもの」



6年「サウンド オブ ミュージック」「スマイルゲイ」



7年「マイバラード」



8年「明日へ」



9年「予感」

小山市民文化祭

第69回小山市民文化祭の開幕祭が11月2日に行われ、同ポスター展の入賞者表彰が行われました。最優秀賞に7年AYさん、優秀賞に8年TAさん、9年YYさんが入賞しました。おめでとうございます。



また、11月7日・8日に小山市文化センターで行われた市民文化祭音楽発表会では、6年生の合唱「スマイル アゲイン」、9年生の合唱「予感」、そして吹奏楽部の演奏「ジョン・フィリップス」「男の勲章」を、多くの観衆の前で披露することができました。とてもよい経験になったことと思います。

中島橋花植え（3年）

11月6日、中島弥生会と絹公民館の皆様と共に、中島橋近くの花壇にパンジーなど約500株を植え付けました。事前に、肥料をまいたり畝付けをしたりするなどの準備をしていただいたおかげで、当日は、短時間の作業できれいに植えることができました。これから冬の間、きれいな花を咲かせてくれると思います。近くを通られるときには、ぜひご覧いただきたいと思います。



管巻き・地機織り（6年）

11月11日、ふるさと学習の一環として、地機織りの緯糸となる糸を紡ぎ、管に巻き取る「管巻き」とそれを使ってコースターを織る地機織りについて、ご指導いただきました。3年次に作り、5年次に染色した角真綿を使って、糸紡ぎをしました。朝の会前の時間等も使って、2枚分の角真綿を管巻きできるよう頑張っています。今後、地域の方に指導いただきながら、2台の機織り機で順番にコースターづくりに取り組む予定です。



動物ふれあい教室（1年）

11月11日、ローズ動物病院の獣医師の皆様にご指導いただき、うさぎとの触れ合い方や生態について学びました。うさぎと自分の心音の違いを聞き比べたり、優しくなでたりして、命の大切さを感じることができました。



天文教室（6年）

11月13日、小山市立博物館の先生による天文教室を実施しました。太陽系について模型を使って学んだり、「ほっしー号」の天体望遠鏡で太陽の黒点を観測したりしました。宇宙への興味が高まりました。



思春期保健講座（9年）

11月13日、小山市子ども家庭センターの保健師の皆様を講師にお迎えし、「思春期における性と生」と題し、望まぬ妊娠や性感染症の予防について、命の尊厳や生命を生き育てることの大切さについて学びました。



【絹義務教育学校ホームページ】に掲載しています。写真等も鮮明にご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/school/compulsory-school/kinu/>

